



令和3年4月7日

一関市議会議員 槻山 隆 様

会派の名称 清和会
 経理責任者の氏名 門馬 功

政務活動費収支報告書

令和2年度の政務活動費に係る収入及び支出について、一関市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、下記のとおり提出いたします。

記

1 収入

政務活動費 1,440,000 円

2 支出

科目	金額 (円)	主たる支出の内容
調査研究費	26,960	交通費
研修費	40,000	研修会参加費
広報費	630,550	会派活動チラシ製作、新聞折込料等
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	5,640	コピー料金
資料購入費	5,280	図書購入費
人件費	0	
事務所費	0	
合計	708,430	

3 残額 731,570 円



令和 2年 9月20日

一関市議会議長 槻 山 隆 様

会派名 清和会
代表者 勝浦 伸行



調査研究等事業の実施について

標記について、下記により実施いたしますので、お届けいたします。

記

1. 期 日 令和 2年10月 8日
2. 実施場所
(視 察 地) 東京都 千代田区 内幸町
3. 視察事項
レジリエンスジャパン推進協議会が進める、新たな企業
版ふるさと納税モデルに関する調査
4. 参加議員
勝浦伸行
5. 行 程 別紙行程表のとおり

(会派用)

別紙行程表

◎ 令和2年10月8日(木)

内 容	時 刻	備 考
一ノ関駅 発	午前9時48分	
↓		はやぶさ108号
東京駅 着	午前11時56分	
↓		徒歩
千代田区 内幸町 着	午後2時00分	幸ビルディング9階
(視察等)	(株)レジリエンスジャパン総研	
千代田区 内幸町 発	午後4時30分	
↓		徒歩
東京駅 発	午後5時56分	
↓		はやぶさ107号
一ノ関駅 着	午後8時1分	

支 出 伝 票

項 目	調査研究費	支出内容	旅費
金 額	26,960円	摘 要	鉄道運賃 10月8日 一ノ関～東京

(科目領収書貼付) 10月8日 往路：はやぶさ108号、復路：はやぶさ107号

領 収 書 清和会 様

Receipt

領収年月日 2020.10.-7

金 額 ¥26,960

(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(20044-30045 2枚)

東日本旅客鉄道株式会社

一ノ関駅

一ノ関駅 [] 発行 []

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R001

有XX-XX
(JR東日本)

会社名・会員番号 []

取引内容:お買上 支払区分: - 回 MS ¥13,480

商品名: 指 定 券 1枚(冊)

10月 8日 はやぶさ 108号 一ノ関→東京 乗車券込み

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

この控は大切に保存してください。

2020.10.-7 20044-02 一ノ関駅 [] 発行

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R002

有XX-XX
(JR東日本)

会社名・会員番号 []

取引内容:お買上 支払区分: - 回 MS ¥13,480

商品名: 指 定 券 1枚(冊)

10月 8日 はやぶさ 107号 東京→一ノ関 乗車券込み

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

この控は大切に保存してください。

2020.10.-7 30045-02 一ノ関駅 [] 発行

※領収書を1枚1枚、分かるように貼付して下さい。

(会派用)



令和2年10月20日

一関市議会議長 槻山 隆 様

会派名 清和会

代表者 代表 勝浦 伸 行



調査研究等事業の実施について

標記について、下記により実施いたしますので、お届けいたします。

記

1. 期 日 令和2年10月30日(金)
2. 実施場所 盛岡市
(行 先) 岩手教育会館
3. 事業内容 自治体議会特別セミナーin盛岡
(参考資料・チラシ等の添付)
4. 参加議員 勝浦伸行、門馬功、佐々木久助、佐藤浩、
小山雄幸、千葉恭平、佐藤雅子、沼倉憲二
5. 行 程 別紙行程表のとおり

(会派用)

別紙行程表（業者行程表可）

各自で移動

新人からベテランまで！ 自治体議会特別セミナーin盛岡

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と議会事務局職員のための「学びの場」です。

議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「政務活動費の活用策」について、基本的な事項から政策立案への活用策まで扱います。どうぞ岩手地域の自治体議会関係者の御参加をお待ちしております。

2020（令和2）年10月30日（金）

13：30～16：30（3時間）

《議員の資質向上と政務活動費活用策》

記

◎日時：2020（令和2）年10月30日（金） 13：30～16：30（3時間）（13時から受付）

◎会場： 盛岡市民文化ホール 第2会議室
盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 tel 019-621-5100

◎受講料：5,000円（議員）、2,000円（職員）（当日払い）

◎講師： 三重県地方自治研究センター上席研究員 高沖秀宣氏
（議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長）
（1953年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002年4月から三重県議会事務局で、
政策法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。
主な著書に『自治体議会改革講義』（東京法令出版、2018年）等がある。）

（プログラム）

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 議員の資質向上の在り方 | 2 「二元代表制」における議会活動 |
| 3 政務活動費の適正な使用 | 4 政務活動費を活用した政策立案の仕方 |

◎申込方法：下記の mail 又は電話にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。
（参加者が少数な場合、天災の場合など、中止させていただく場合があります。）

◎申込み・問合せ先：自治体議会研究所（代表：高沖秀宣）

mail: XXXXXXXXXX 電話: XXXXXXXXXX (9時～19時)

支 出 伝 票

項 目	研修費	支出内容	出席者負担金及び会費
金 額	40,000円	摘 要	研修会参加費

(科目領収書貼付) 別紙のとおり

	氏 名	金 額
1	勝 浦 伸 行	5,000円
2	門 馬 功	5,000円
3	佐々木 久 助	5,000円
4	佐 藤 浩	5,000円
5	小 山 雄 幸	5,000円
6	千 田 恭 平	5,000円
7	佐 藤 雅 子	5,000円
8	沼 倉 憲 二	5,000円
	計	40,000円

※ 領収書を1枚1枚、分かるように貼付して下さい。

領 収 書

勝浦 伸行 様

金 5、000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和 2 年 10 月 30 日

自治体議会研究所 ([Redacted])
代表 高 沖 秀 宣 (印)

領 収 書

門馬 功 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和 2 年 10 月 30 日

自治体議会研究所 ([Redacted])
代表 高 沖 秀 宣 (印)

領 収 書

佐々木 久助 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 ([Redacted])
代表 高 沖 秀 宣 [Redacted] 印

領 収 書

佐藤 浩 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 ([Redacted])
代表 高 沖 秀 宣 [Redacted] 印

⑤

領 収 書

小山 雄幸 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 (

代表 高 沖 秀 宣 印

⑥

領 収 書

千田 恭平 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 (

代表 高 沖 秀 宣 印

⑦

領 収 書

佐藤 雅子 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 (

代表 高 沖 秀 宣 印

⑧

領 収 書

沼倉 憲二 様

金 5, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「自治体議会特別セミナー盛岡」受講料として。

令和2年10月30日

自治体議会研究所 (

代表 高 沖 秀 宣 印

支 出 伝 票

項 目	広報費	支出内容	印刷費、送料
金 額	630,000円	摘 要	会派広報の印刷代、新聞折込料
(科目領収書貼付)			

振込金 (兼手数料) 受取書

預金払戻請求書 による振込受付書 (兼手数料受取書)
 預金口座振替

令和

ご依頼日 平成 年 月 日
 03 03 24
 お方振込法 電 信 書

お振込先 一 関 支店
 当 預 銀 信 農 其
 庫 金 行 租 協 他

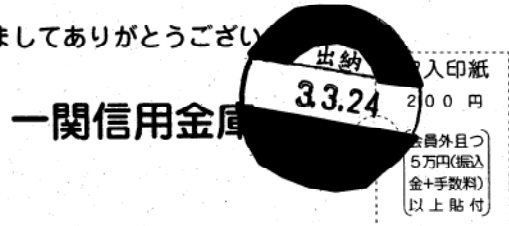
お受取人 カナ姓 コンカツインサツユウケ
 カナ名 シンカイニヤ
 金額 十億 百万 千 円
 ¥ 630,000
 振込手数料 550 円

(おなまえ) コンカツ印刷有限公司
 代表取締役 菅原 隆 様へ
 (おでんわ) 0191-48-5963

- ・振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照合等のため振込が遅延することがあります。
- ・通信機器・回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがあっても当金庫は責任を負いません。
- ・組戻しをご依頼の場合には別途手数料がかかります。

お依頼人 カナ姓 セイワカイタニヒョウ
 カナ名 カツラノフユキ
 (市外局番) 市内局番 - 番 号
 おでんわ

ご利用いただきましてありがとうございます



(おなまえ) 清谷 代表 勝浦伸行 様から
 (おところ) 一関市

SC27-0603

(17.11)

※ 領収書を1枚1枚、分かるように貼付して下さい。

021-8501
一関市竹山町7-2

請求明細書

2021年 3月18日(木) 締切分 16232 (1/1)

清和会 御中

コンカツ印刷株式会社

代表取締役 菅原 隆

本社 〒021-0021 岩手県一関市中央町一丁目
TEL (0191)48-5963
FAX (0191)48-5964

振込先 一関信用金庫本店
岩手銀行一関西支店
北日本銀行山目支店

下記の通り御請求申し上げます。

今回御請求額

前回御請求額	御入金額	繰越金額	今回御買上額	消費税額	今回御請求額
			572,420	57,580	630,000

日付 伝票番号	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
03/18 16232	会報	38000	枚	9.5	361,000
16232	デザイン料 A3デザイン1式	1	式	30,000	30,000
16232	チラシ折込料立替	36960	枚	5	184,800
16232	値引き	1	点		-3,380

商品名	数量	単位	単価	金額
・会報	38,000	枚	9.5	361,000
・デザイン料	1	式	30,000	30,000
・チラシ折込料	36,960	枚	5	184,800
・ 計				575,800
・ 消費税				57,580
・ 合計				633,380
・ 値引き				△ 3,380
・ 請求額				630,000

西磐井郡		清和会										2021年3月22日(月曜日)		B4		36,960	
市	町	会派報										コンカッソ印刷		菅原		概要	
町		岩手日報		読売新聞		朝日新聞		毎日新聞		河北新聞		河北新聞		岩手日報			
部	数	部	数	部	数	部	数	部	数	部	数	部	数	部	数	部	数
折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数	折込部数
販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名	販売店名
平泉	710	平泉中央	710														
小計	2,200	小計	710														
日報平泉内(衣川300舎)		読売平泉内(衣川150舎)		読売平泉内(日450舎)												2,910	
一関		一関	1,600	一関	2,200	一関	1,880	一関	450	一関	11,660	一関	(読)	300	一関	11,660	11,660
山目		山目	1,500											800			300
花泉		花泉	2,950	花泉	1,330									500			800
川崎		川崎	1,250														500
千厩		千厩	2,200														
室根		室根	1,250														
摺沢		摺沢	1,100														
興田		興田	890														
大原		大原	1,110														
東山		東山	2,150														
藤沢		藤沢	1,220														
小計		小計	17,220	小計	17,220	小計	3,530	小計	1,880	小計	900	小計	240	小計	18,170	小計	18,170
読売花泉内(金沢地区400舎)・日報川崎内(一関270舎)		読売花泉内(日700舎)														42,150	
																45,060	
																36,960	
																36,960	

※H23.9.26より東磐井郡藤沢町が市町村合併により一関市藤沢町となりました。
 ※H24.6.1「岩手日報折込」が「室根」へ販売店名変更
 ※H24.10.1河北新聞 興田「河北新聞」系統複合店から「岩手日日」系統複合店に変更
 ※河北新聞津谷川は岩手日報室根へ統合されました。 H26.5.1
 ※読売新聞「平泉」が読売新聞「平泉中央」へ販売店名変更 H29.7.1
 ※岩手日報藤沢は岩手日報興田へ統合されました。 R2.5.1
 ※岩手日日興田は岩手日日興田(千田)・岩手日報摺沢へ統合されました。 R2.11.1

令和3年2月現在 株式会社読売IS

支 出 伝 票

項 目	資料作成費	支出内容	印刷製本費
金 額	5,640円	摘 要	コピー代

(科目領収書貼付) 別紙のとおり

	領収日付	金 額
1	令和2年10月21日	840円
2	令和3年1月22日	420円
3	令和3年3月18日	4,380円
	計	5,640円

※ 領収書を1枚1枚、分かるように貼付して下さい。

納入通知書兼領収証書		
(128814)		
[Redacted]		
清和会 代表 勝浦 伸行 様		
年度	令和02年度	
会計	01	一般会計 (現年)
所属課	110200	議会議務局
款項目	21 05 04	諸収入 雑入 雑入
節細節	26 001-01	雑入 コピー料金収入((共通)コピー料金収入)

伝票番号 047412 - 00

通知書番号	金額
034018	840 円
内容 (共通)コピー料金収入 42枚 (白黒)	
納入期限	令和02年11月30日
上記の金額を一関市指定金融機関又は収納代理金融機関に納付してください。 令和02年10月15日 一関市長 勝部 修	
上記のとおり領収しました。	
領収書付印 210.21	
一関市指定金融機関等	
納 入 者 保 管	

印

納入通知書兼領収証書		
(128814)		
[Redacted]		
清和会 代表 勝浦 伸行 様		
年度	令和02年度	
会計	01	一般会計 (現年)
所属課	110200	議会議務局
款項目	21 05 04	諸収入 雑入 雑入
節細節	26 001-01	雑入 コピー料金収入((共通)コピー料金収入)

伝票番号 070807 - 00

通知書番号	金額
049657	420 円
内容 (共通)コピー料金収入 37枚 (白黒)	
納入期限	令和03年02月26日
上記の金額を一関市指定金融機関又は収納代理金融機関に納付してください。 令和03年01月14日 一関市長 勝部 修	
上記のとおり領収しました。	
領収書付印 3.1.22	
一関市指定金融機関等	
納 入 者 保 管	

印

納入通知書兼領収証書		
(128814)		
[Redacted]		
清和会 代表 勝浦 伸行 様		
年度	令和02年度	
会計	01	一般会計 (現年)
所属課	110200	議会議務局
款項目	21 05 04	諸収入 雑入 雑入
節細節	26 001-01	雑入 コピー料金収入((共通)コピー料金収入)

伝票番号 087291 - 00

通知書番号	金額
060717	4,380 円
内容 (共通)コピー料金収入 白黒218枚 フルカラー44枚 (使用面数262)	
納入期限	令和03年03月29日
上記の金額を一関市指定金融機関又は収納代理金融機関に納付してください。 令和03年03月18日 一関市長 勝部 修	
上記のとおり領収しました。	
領収書付印 3.3.18	
一関市指定金融機関等	
納 入 者 保 管	

支 出 伝 票

項 目	資料購入費	支出内容	資料購入費
金 額	5, 280円	摘 要	図書購入費
<p>(科目領収書貼付) 別紙のとおり</p> <p>・月刊「潮」は、郷土の偉人「芦東山」が連載。</p>			

※ 領収書を1枚1枚、分かるように貼付して下さい。



ごあいさつ

清和会代表
勝浦伸行

清和会では、国内外で大きな脅威となっている「新型コロナウイルス感染症」対策や山積する市政課題解決のため、市民本意と地域視点に立って活動しようとの同じ思いの8人が集まり議員活動を行なっています。令和3年1月議会から「通年議会」がスタートしましたが、清和会では、今後の厳しい市政運営を踏まえ、「議会改革」に積極的に取り組み、市民の負託に応える議会を目指し日々努力を重ねています。次の世代のための一関市づくりを市民の皆様とともに進めていきたいと思っておりますので、宜しくご支援の程をお願いします。



せい わ かい

清和会

清和会は、既成政党にとらわれず、市民本位と地域の視点で市勢の発展のための議員活動をおして政策提言を行うことを共通の志とし、次世代のための一関市づくりに貢献することを目的にしています。

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2(一関市議会内) 発行責任者 佐藤 浩 ☎0191-21-8604 (内線8606)

清和会は、一関市勢のさらなる発展に8名で挑みます。



ぬま くら けん じ
沼倉 憲 二
藤沢町大籠
副議長
産業経済常任委員会
治水対策特別委員会
ILC 誘致・学術研究都市づくり特別委員会 委員長

「地域の願いを議員活動をとおして実現する」をモットーに、人口減少や高齢化が加速し、新型コロナ感染症の深刻な影響が生じている現状を乗り越え、各地域の特色を生かした魅力ある一関市づくりに取り組んでいます。

具体的には、多様な就労の場の確保や健やかに生活できる医療、福祉、保健の地域包括ケアの強化、農業振興のための米作、野菜果樹、畜産の振興、木質バイオ活用による温暖化対策や地元木材を活用した循環型の林業による中山間地の活性化や地元商工業の振興に取り組んでいます。

また、教育の充実やILCの立地の促進、県境の壁を打ち破り積極的な宮城県側との通学、通勤、買い物、医療、物流などの市内への利便を向上する道路網やトンネルの整備、河川治水の対策、中東北の拠点都市の機能強化や情報化（ICT）を推進し、次の世代が希望を持てるよう若者や女性の発想を生かしたSDGs持続可能な地域社会づくりに取り組んで参ります。



さ とう まさ こ
佐藤 雅 子
東山町長坂
教育民生常任委員会
治水対策特別委員会 委員長
一関広域行政組合議会議員

今年はお経験したことのない新型コロナウイルスの拡大に振り回された一年間でしたが、いのちとくらしとふるさとをみなさんと共に守るため努力しております。

さて、私は議員活動の中で、子育て支援と教育の充実を重点課題として取り上げてきました。特に教育の充実においては、次世代を担う人材の育成が重要になると確信しております。

福祉活動においては「ゆりかごから墓場まで」をモットーにやさらかな一生を終えるような支援活動を心掛けていきます。

産業振興による雇用創出、基幹作物の米や畜産はじめ、野菜、花卉等付加価値を高めながら六次産業化や地域外商強化等、人口減少ができるだけ緩やかに進んでいくことを期待する次第です。

また、ふるさとを守るため観光や森の資源を活用した取り組み、道路網の整備、治水対策等も取り上げていきます。変わりゆく未来を見極めながら前進することが持続可能なまちづくりに発展するものと思っております。



お やま ゆう こう
小山 雄 幸
室根町折壁
監査委員
建設常任委員会
一関広域行政組合議会議員

昨年発生した新型コロナウイルス感染症が市民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしており、感染の予防対策や経済支援に取り組み、「新しい生活様式」を実践しながら、一日も早い終息と発生前の生活に戻れるように取り組んで参ります。

各地域には、まだまだ解決しなければならない課題が山積しており、地域の皆様の熱意とご協力を頂きながら、地域づくりに取り組んで参ります。

室根地域の課題であった室根バイパスが開通し、道の駅の開業により地域の振興が図られ、にぎわいが創出されました。又、折壁町商店街の通りを生かしたイベントなどで街の活性化に努力いたします。

統合小学校の建設、開校や事業化された津谷川地区狭隘部の解消など、速やかな完成に向け尽力して参ります。



ち だ きょう へい
千田 恭 平
千厩町千厩
教育民生常任委員会 委員長
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員

コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、必要な事はこちらからも永続的にこの地で暮らせることです。私達を包む自然環境はその基本で、壊すことなく次世代に引き継ぐことが大人の責任です。これまで環境保全活動を続けて参りましたが、温暖化防止のため、CO2削減に向けた環境政策が重要と考え、これらを議会でとりあげてきました。

また将来を託す人づくりでは、小中学校の生徒の教育が大切です。学習環境の整備をはじめ、集中力を高めるために百マス計算などで実績のある陰山メソッドを取り入れることを提案し、令和2年度からは市内の全小学校でこの取り組みが開始されました。

さらに誰もが高齢者となる社会では、歳をとっても不安なく暮らせる地域づくりを進めなければなりません。いざというときの見守り、移動手段の確保や施設の利用などについて、今後も地域の声を聞きながら具体的・現実的な提言を行い、改善に向けて活動を続けて参ります。

〈清和会の重点取り組み〉

- ・積極的な企業誘致
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・県立一関工業高校統合計画
- ・公共施設保有の見直し
- ・林業振興
- ・教育行政（GIGAスクール構想）
- ・行財政改革



さ さ き きゅう すけ
佐々木 久 助
大東町中川
総務常任委員会
議会報編集特別委員会
放射能被害対策特別委員会 副委員長

持続できる地域社会の構築にむけて、空き家空き店舗の活用や農地、林地の管理について考え、豊かな地域の食材を給食での積極的な利用や農業が持つ教育力を活かすことで子供達と地域を結び、次なる地域社会の担い手育成を目指し市の取り組みを確認した。

人口減が続く一関、学校統合や市が抱える旧市町村の施設再編、所有の検討などによる見直しを進め、将来負担を軽減する取り組みと同時に ILC 誘致や地域外の人々との交流事業を働きかけながら一関の発展をめざします。

コロナ禍後の社会発展のキーワードは脱炭素社会といわれています。身近にある資源の利用や自然エネルギーの活用を見直すことで、消費と生活や生産の地域内循環を高め市民と市民が関わる機会を増やしていくことで孫子に手渡せる一関市を、多様な個性を尊重し発揮できる一関市を目指して議会活動に取り組めます。



もん ま いさお
門馬 功
大東町大原
総務常任委員会 副委員長
議会報編集特別委員会

人口減少、少子高齢化が一関市の大きな課題となっています。生まれ育った「まち」を守り、よりよい形で次世代につなげるようにすること。そして、「子どもたちはのびのび元気に育ち、お父さん、お母さんは安心して子育て出来るまち。高齢者が元気で長生きできるまち。」を目指して参ります。そのためにも、基盤となる農林業を始めとする地場産業の振興、若者の定着とUターンなどによる流入人口の増加、安心して出産・育児・子育てが出来る環境の整備、高齢者が知識や経験を活かし、地域社会の支え手として活躍できる仕組み、ふるさとの祭りや伝統文化などを次世代につなぐこと、経済波及効果と交流人口の増加が期待されるILCの誘致促進を図ります。また、合併して市域が広く大きくなったからこそ、地域の「声」を市政に届けることが大切であると考えます。それぞれの地域の声を実現することにより、一関市全体の調和ある発展に結び付くよう取り組んで参ります。



か つ うら のぶ ゆき
勝浦 伸 行
一関市狐禅寺
清和会代表
建設常任委員会
議会運営委員会 委員長
一関広域行政組合議会議員

新型コロナウイルス感染症による市民の不安は計り知れないものと認識し、市政課題の解決に向け日々活動を続けています。

市議会代表質問においては、主に以下について質疑・提言を行いました。

- ・大型投資が続き、大きく膨らむ地方債残高に関して、今後においても、質の高い市民サービスを維持するために、なお一層の行財政改革に取り組むこと。
- ・観光振興や企業誘致において、お互いのメリットを生かしたまちづくりを進めるため、合併を見据えた平泉町との強固な関係構築を進めること。
- ・若者の地元定着の実現に向け、企業誘致を積極的に進めることが重要であり、新たな工業団地の整備に取り組むこと。
- ・安心・安全な街づくりのため、街灯の整備、防犯カメラの設置を進めること。



さ とう ひろし
佐藤 浩
一関市赤荻
清和会幹事長
産業経済常任委員会 委員長
議会運営委員会
一関広域行政組合議会運営委員会

新型コロナ感染症は、緊急事態宣言地域に限らず、全国各地の産業経済に深刻な影響を与えています。一関市においても、多種多様な業種にわたり経済的打撃を受けています。実態を把握し、支援策の拡充・拡大を図る必要があります。中でも、飲食業への支援は不可欠と考えます。1日でも早いコロナ感染症の鎮静化を願っています。

私は、市民生活に関わる様々な課題を質していますが、解決に至っていない事項が多くあります。限られた予算と優先的に取り組まなければならない事項が山積している状況にあり、ご理解いただきたいと思います。これまでの要望・提言において、国道4号以西の公園整備において赤荻根本公園の整備、カラスの糞対策として高圧洗浄機の貸し出し、市役所本庁舎の駐車場拡大および自転車駐輪場の移設などが実現しました。

今後も「やさしさでつくる笑顔のまち」をスローガンに活動してまいります。

清和会では、以下のような事項について令和3年度施策および予算要望事項を市長に提出しました。

1. 新型コロナウイルス感染症対策に関して

- 新型コロナウイルス感染症に対応するための財源確保
 - 市民生活の現状に鑑み、生活支援、事業者支援に取り組むこと
 - 「新しい生活様式」に対応した事業の見直しに着手すること
- など4項目

2. 地域経済の活性化に関して

- 市内業者優先の発注・入札制度の導入を進め、地域で経済が回る仕組みづくりの推進
 - 国道343号渋民沿線への「道の駅・産直施設」の整備促進
 - 林業振興において、市の積極的な木材利用と補助制度の見直しで地元材活用の方策を検討すること
 - 地域農業の振興策の検討、特に、中山間地の耕作放棄地対策を進めること
- など8項目

3. 教育施策に関して

- GIGAスクール構想において、新しいデジタル教育のスピード感を持った推進
 - 図書館の高い利用率は市民の誇りであり、これまで同様の予算措置を行うこと
 - 新たな県立高等学校再編計画による、一関工業高校と水沢工業高校の統合計画について、計画見直しを関係機関に働きかけること
 - 県立中学校における県外枠の新設を県に要望すること
- など8項目

4. 資源エネルギー循環型まちづくりに関して

- 速かに気候非常事態宣言を発表し、温暖化対策に全力で取り組むとともに、2050年CO2ゼロ宣言を発表し、脱炭素社会への移行を立案すること
- 「バイオマス産業都市」として、相応しい新清掃

センターを建設すること

- 公用車の電気自動車の導入を進めるとともに、充電スポットの整備を進めること
- など7項目

5. 安全安心に暮らせるまちづくりについて

- 高齢化社会に対応できる医療・福祉・保健の連携した地域包括ケアシステムの取り組みの調査研究に着手すること
 - 国土強靱化分野における新技術の実証を進め、災害時の情報通信網の整備および災害時の緊急医療体制の充実を図り安心して暮らせるまちづくりに取り組むこと
- など3項目

6. 道路整備について

- 国道343号笹ノ田トンネルの事業化、渋民バイパスの早期完工、主要地方道一関大東線生出～流矢間の高上げの整備要望
 - 都市計画道路の未完成路線の早期着工
- など8項目

7. 治水対策について

- 北上川と黄海川の合流部への水門設置と堤防の整備および大型圃場への支援
 - 北上川狭隘部並びに支流の総合的な治水対策の促進
 - 狐禅寺寺裏地区の水門への排水機場の設置
- など4項目

8. 上下水道事業について

- 上水道未普及地域の解消および計画の見直し
 - 公共下水道事業にとらわれることなく、土壌浄化システムトイレやバイオトイレ等の検討
 - 合併浄化槽設置者が下水道管に接続する際の工事費支援の検討
- など4項目

